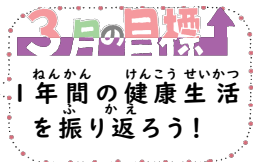


みんなのこころとからだをみつめるほけんだより



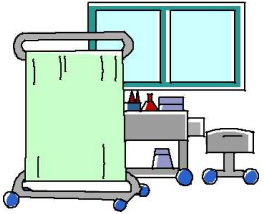
ほけんだより



2024. 3. 18

No. 34

おたのしけしょうがっこう ほけんしつ
大楽毛小学校保健室



保健室 1年間の記録

【令和5年4月6日～令和6年3月14日までの利用から】

保健室の 利用者数

1,498人
でした

きよねん
2,070人

ケガで来た人

711人

きよねん1,156人

体調が悪くて来た人

503人

きよねん586人

一番多かったケガ

きりきず
すりきず

一番多かった症状

頭痛
(あたまがいたい)

来た人が 多かった月

6月

202人

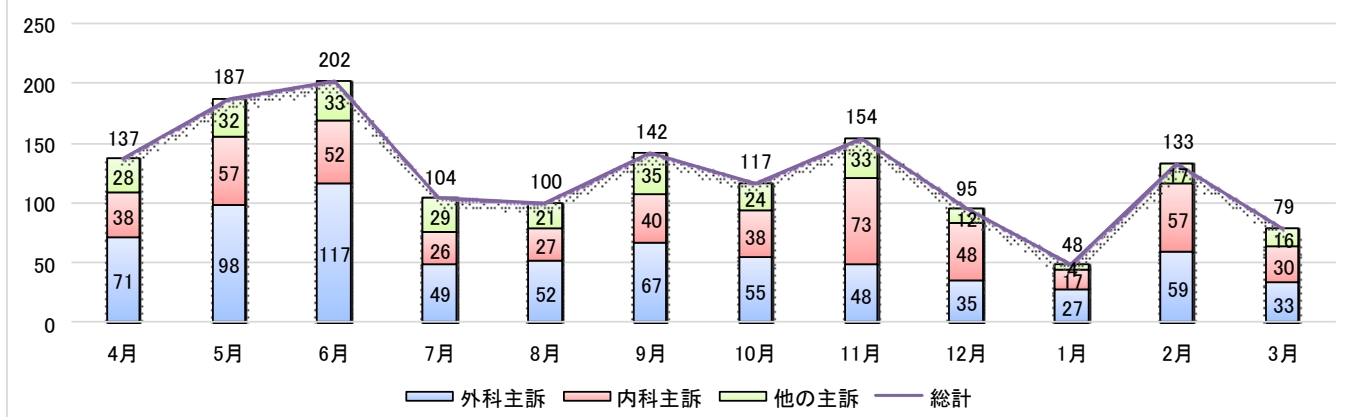
来た人が 少なかった月

1月

48人

その他〔皮膚科・耳鼻科・歯科・眼科他〕…284人

月別利用状況



去年から見ると、ケガで来た人が大きくへりました(約500人ほどへる)。ケガが少ないということは、学校生活が落ち着いていたということも言えます。今年は特に、毎月出る生活目標を全校でしっかり守ろうと、みんなで意識して取り組んだことも大きかったと思います!

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます!

あきこ先生から卒業生のみなさんへ一冊の絵本を贈ります…



星が消えていく夜明けに赤ちゃんが生まれました。そして、赤ちゃんが生まれると同時に、一人の女性がお母さんになりました。

赤ちゃんの手はとても小さく、足もとても小さい。たくましい若者になるまで、大事に守ってあげなければとお母さんは思いました。

靴を履いて野原を遊びに行ったり、駆けっこしたり、一緒に海を見に行ったり。赤ちゃんの成長とともに、たくさんのことを一緒にしようとお母さんは考えました。

家族がいて、友達がいて、家があって、学校があって、街があって、国があって、世界があって…。それから、みんなの愛が繋がって、地球は輝くのです。

赤ちゃんの可愛い手も、いつかお母さんの手を包み込むほど大きくなります。その手が、どうか銃など握りませんように。そうお母さんは祈ります。



人の命を傷つけてはいけません。奪ってはいけません。そんなことは誰でも知っているのに、どうして戦争で命が激しくやりとりされるのでしょうか。



戦争は悪魔。すべてのものを壊し尽くします。小鳥の声から始まる朝も、お母さんの作る朝ご飯も、すべてを壊します。窓辺で月を見る静かな夜も、お母さんと祈る夜の祈りも、すべてを奪います。

子どもたちから平和な日常を奪わないでほしい…。本当は、それが多くのお母さんの願いなのです。この子がやがて大人になり、一緒に生きる人と出会い、愛する命を抱く喜びをどうか奪わないで…子どもたちから。

「おかあさんのいのり」作：武鹿悦子（岩崎書店）より

この本は、我が子への愛情と平和への願いをつづったお母さんの祈りを描いています。今、この絵本の想いをみんなに伝えたいと強く思いました。世界中の大人たちは、みんなの未来が平和であるためにはどうしたらいいか、たくさんの知恵と勇気を出し合っています。みんなの夢に向かって進む世界が、平和で幸せがたくさんあるように!あきこ先生もずっと応援しています!卒業おめでとう!!

